

1. 遺跡名 さがみ縦貫道路 海老名地区  
中野桜野遺跡  
(なかのさくらの)

2. 所在地 海老名市中野 13-1 他

3. 時代 弥生時代から近世

#### 4. 調査概要

本調査は、日本道路公団東京建設局厚木工事事務所による、さがみ縦貫道路建設工事に伴う事前調査として、平成 15 年度から実施しています。

調査は 9 ヶ所の地点及び側道部分を対象として平成 17 年まで継続する予定です。

調査地点は JR 社家駅の南西約 1 km、現在は相模川沿いの新堤防及び旧堤防の内側にあたります。一見して平坦ですが、周囲に比べ標高が若干高い相模川左岸の自然堤防上にあります。

これまでの調査では、そうした地形に応じて住居跡や墓地などが確認されています。

主な遺構として、近世の旧堤防、溝状遺構、墓坑群、畝状遺構、中世では、掘立柱建物址や溝状遺構、古墳・弥生時代の竪穴住居址が発見されています。遺物は、陶磁器類、須恵器・土師器、弥生土器・石器などがあります。





調査区完掘状況



住居跡完掘状況



土器出土状況